

## 芸術コース訪問演奏報告記 8 「北愛宕の園」

平成29年 2月10日(金)

今年度最後の芸術コースの訪問演奏は、<sup>きたあたご</sup>「北愛宕の園」(2月2日午前)です。歌うのは、2年生の総勢4人と助っ人の市嶋先生です。インフルエンザの季節のため、最初にマスク着用をお願いされました。もちろん、合唱中は外します。今回は、何と3回のステージがあり、それぞれの階のお年寄りから喜んでいただきました。では、楽しい様子を写真で報告します。



マイクロバスで運んで頂き、到着です。



インフル防止のため、玄関で石けん消毒です。



インフル防止のため、マスク着用です。



終わったらどうぞと、「お菓子」の用意がありました。



頂いたお茶でのどを潤し、さあ出発です。

## 第1ステージ（1階）



電子ピアノの準備中です。



代表が豊栄高校芸術コースの説明と、歌う曲の紹介をします。



出だしの曲は「川の流れるように」です。  
今回も市嶋先生のテノールが生徒を支えてくださいました。



でも、最初はやや緊張気味です。



楽譜を見ながら真剣に。



お年寄り達の熱い視線を感じながら。



司会の方が「ありがとうございました。皆さん、良かったら、最後に握手でお別れしてください」



お年寄りと握手する生徒達。



「とても良かったよ」と感謝されました。

## 第2ステージ（2階）



改めて電子ピアノのコードをつなぎます。



2階の会場に移動です。よいしょ。



2回目の説明の開始です。



2曲目から「冬の童謡メドレー」です。



「冬の星座」から始まり、『ゆきやコンコ』の軽快な「雪」



そして「冬の夜」から、顔や手が火照るような「たき火」



メドレー最後は「冬景色」です。



このステージ最後を飾るのは、「ふるさと」の2部合唱です。



お別れは、お年寄りと生徒の握手会



男子生徒の手を両手で挟み、お礼をいうおばあちゃん。



3階の会場に移動です。みなさんの拍手でお送り頂きました。

### 第3ステージ（3階）



最後のステージです。準備も手慣れたものです。



3回目ですので、どの曲も、元気に歌えました。



昭和21年流行の「東京の花売り娘」は多くのお年寄りが口ずさんでいました。



おそらく何十年ぶりにか聴いた「東京の花売り娘」に、手拍子はもちろん、片手や指を動かして、拍子を取るお年寄りもたくさんいました。



最後の曲、「ふるさと」の歌詞プリントを配布した所です。



生徒達はこの曲を、楽譜を見ないで、お年寄り達を見ながら、歌います。



「ほんに綺麗な声だこと」と誉められました。



生徒達は、お年寄りから声をかけてもらいながらの握手です。嬉しくて、最敬礼してしまう生徒も。



拍手の中、会場を後にする生徒達。実は、最後の「ふるさと」を歌っているとき、ぽろぽろ涙を流すおばあさんと、両手で歌詞プリンを震わせながら、顔を伏せるおじいさんがいて、生徒は感動でした。



ついに3ステージをこなし、休憩です。  
でも、食べきれませんので、ビニール  
袋をもらい、お菓子を詰めました。



「先生にもおすそ分け」といいながら、しょっぱい  
「サラダホープ」の袋を差し出す、優しい女子達。



今年最後の訪問を終え、車に乗り込む生徒達。